

## 令和元年度 国有林モニターアンケート（第1回）

国有林野事業では、国民共通の財産である国有林野を名実ともに「国民の森林(もり)」とし、開かれた管理経営をおこなっていくため、国民の皆様からご意見を頂戴しつつ管理経営に取り組んでおり、その取組の一環として「国有林モニター制度」を実施しております。このたび、国有林モニターの皆様を対象に、レクリエーションの森ウェブサイトのリニューアルにあたってのご意見を伺うため、令和元年度第1回国有林モニターアンケートを実施いたしました。

つきましては、本紙にてその結果についてご報告させていただきます。なお、本アンケートには、国有林モニター40名の皆様からご回答をいただきました。多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。

- アンケート実施時期：令和元年6月
- アンケート実施対象：九州森林管理局の全国有林モニター48名
- アンケート回答者数：40名（回答率83.3%）

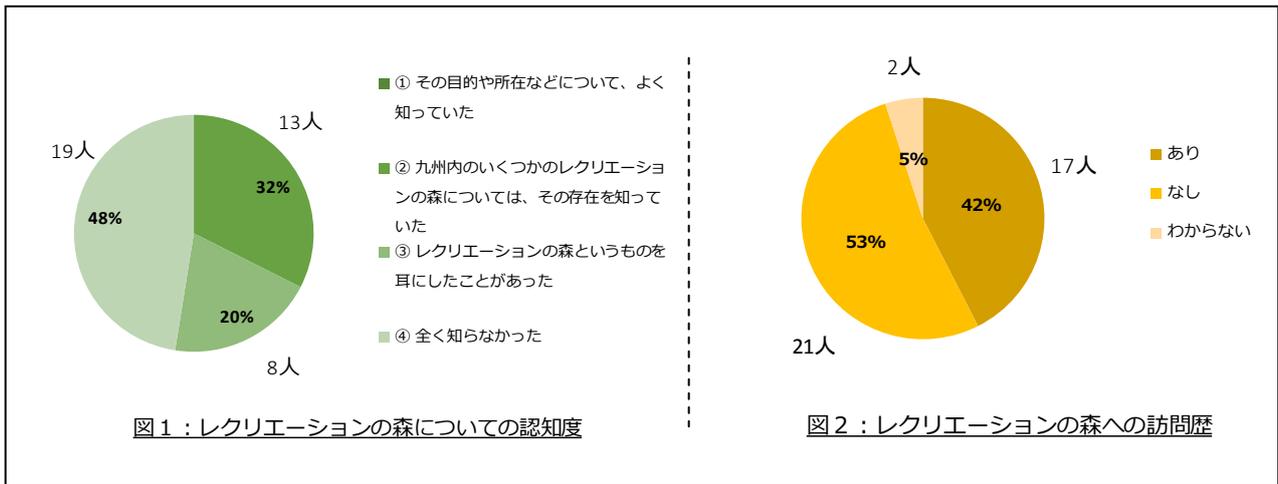
※年齢別内訳

	人数	比率 (%)
30代以下	2	5
40代	6	15
50代	8	20
60代	18	45
70代以上	6	15
計	40	100

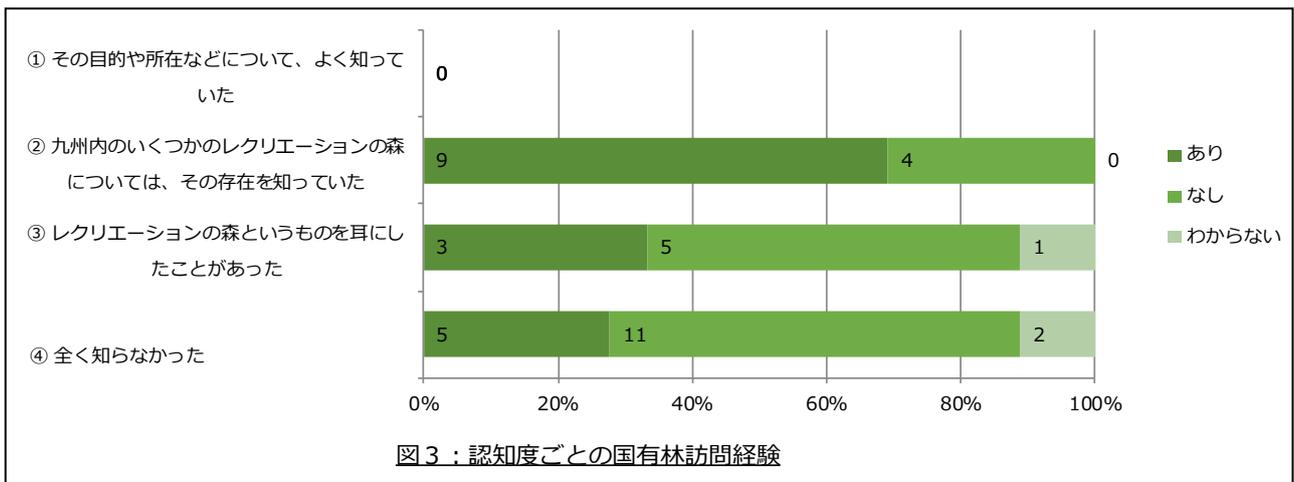
### I レクリエーションの森について

国有林モニターになる以前、レクリエーションの森についてどの程度知っていたか、その認知度について尋ねた結果を図1に示す。「①その目的や所在などについて、よく知っていた」、「②九州内のいくつかのレクリエーションの森については、その存在を知っていた」、「③レクリエーションの森というものを耳にしたことがあった」、「④全く知らなかった」の4つの選択肢のうち、最も回答が多かったのは④で19人（47.5%）、次いで②で13人（32.5%）、③が8人（20.0%）で、最も回答が少ないのは①で0人（0%）であった。およそ半数が、レクリエーションの森について、全く知らなかったということがわかった（図1）。

また、レクリエーションの森への訪問経験を尋ねたところ、全体の半数強である21人（52.5%）に訪問経験がなかった（図2）。



次に、レクリエーションの森の認知度別のレクリエーションの森への訪問経験を図3に示す。レクリエーションの森について認知していても、必ずしも訪問経験があるわけではないということがわかった。また、レクリエーションの森については全く知らなかったが、アンケートに掲載していた九州森林管理局管内のレクリエーションの森一覧図を確認したことで、過去に訪問した先がレクリエーションの森だったことを知ったという方がいるということもわかった（図3）。



国有林モニターの方々が訪問したことのあるレクリエーションの森としては、北九州自然休養林やくじゅう山風景林、由布・鶴見岳自然休養林、屋久島自然休養林などが挙げられ、観光地としてすでに有名である場所に位置するレクリエーションの森への訪問が多い傾向が見られた（表1）。

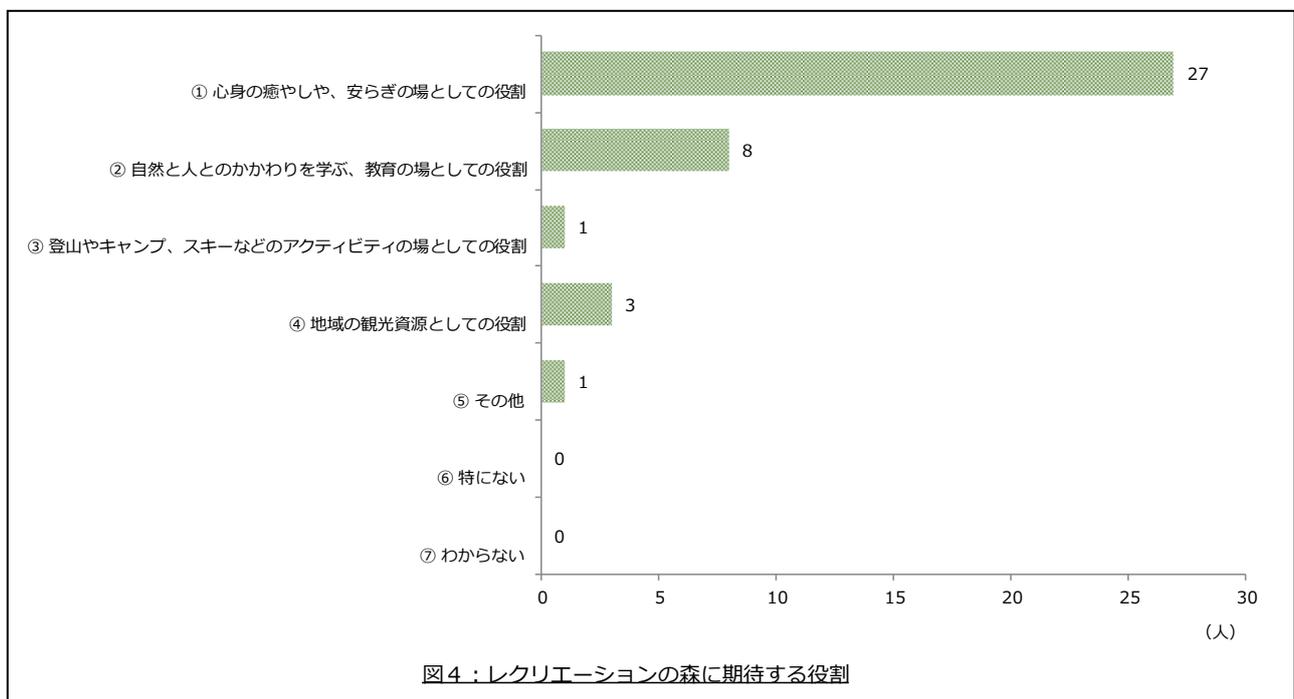
表1：訪問したことがあるレクリエーションの森

所在県	名称
福岡県	北九州自然休養林 立花山風景林 油山風致探勝林
佐賀県	虹の松原風致探勝林 黒髪山自然休養林
大分県	くじゅう山風景林 由布・鶴見岳自然休養林
宮崎県	御池風致探勝林 尾鈴風致探勝林
鹿児島県	屋久島自然休養林
沖縄県	西表自然休養林
九州外	高尾自然休養林

レクリエーションの森へ行ってみたいと思うかと訪ねたところ、回答者のほとんどである38人（95%）が、「ぜひ行きたい」「機会があれば行ってみたい」との回答だった。その理由としては、「自然景

観に心を癒やされたいから」「ストレス解消のため」「心と体の健康づくりをしたい」といった、森林浴を通した心身の癒しを期待するものが多くあった。一方、「行ってみたいと思わない」と答えた方も2人（5%）いた。その理由としては、「詳しい場所やアクセス等がよく分からないため」との声があった。

また、レクリエーションの森の機能として何を期待するかという問いに対しての結果を図4に示す。「①心身の癒やしや、安らぎの場としての役割」、「②自然と人とのかかわりを学ぶ、教育の場としての役割」、「③登山やキャンプ、スキーなどのアクティビティの場としての役割」、「④地域の観光資源としての役割」、「⑤その他」、「⑥特になし」、「⑦わからない」の7つの選択肢のうち、最も回答が多かったのは①で、回答者の67.5%の27人で、次いで②の8人（20%）、④の3人（7.5%）という結果だった。



そのほか、レクリエーションの森に関する意見を求めたところ（自由記述）、下記のようなご意見があった（回答抜粋）。

- 九州森林管理局管内に32箇所のレクリエーションの森があることを知り、とてもおどろいた。
- 何度も訪れていた山がレクリエーションの森とは知らなかった。
- もっとPRして周知する必要がある。SNSの活用をしてはどうか。
- 案内や宣伝が少ないため行きにくい。
- レク森と、国立公園、国定公園、県立公園、世界遺産との関係が分からない。
- 学校教育の一環でレク森に訪問してもらうのはどうか。
- 観光地としてより、なるべく自然のすがたをそのまま残すような整備をしてほしい。
- 中高年の人たちでも気軽に足を運べるような森も指定し、整備してほしい。
- 災害時を想定した野外生活の訓練を受ける場として気軽に利用できたらいい。

レクリエーションの森の宣伝やPR不足に関するご意見を特に多く頂いたほか、学校教育や、野外生活の訓練などのレク森の利活用方法に関するご意見も頂いた。

「レク森と、国立公園、国定公園、県立公園、世界遺産との関係が分からない」とのご意見をいただいたのでここで簡単に解説する。

○国立公園、国定公園、県立自然公園

- ・目的：自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ること
- ・指定者：国立公園・国定公園は環境省、県立自然公園は県
- ・管理者：国立公園は環境省、国定公園・県立自然公園は県
- ・根拠となる法律：自然公園法

○世界自然遺産

- ・目的：世界で唯一の価値を有する自然地域を人類全体のための遺産として損傷や破壊等の脅威から保護・保存すること
- ・指定者：世界遺産条約に基づき、ユネスコの世界遺産委員会が認める
- ・管理者：環境省、林野庁、県、市町村等が保護管理

○レクリエーションの森

- ・目的：山岳、渓谷、湖沼などと一体となった美しい森林やスポーツに適した森林を、森林レクリエーションの場として積極的に活用すること
- ・指定者：地元の要望等に応じて林野庁が設定
- ・管理者：林野庁、地元協議会等
- ・根拠となる法律：国有林野の管理経営に関する法律

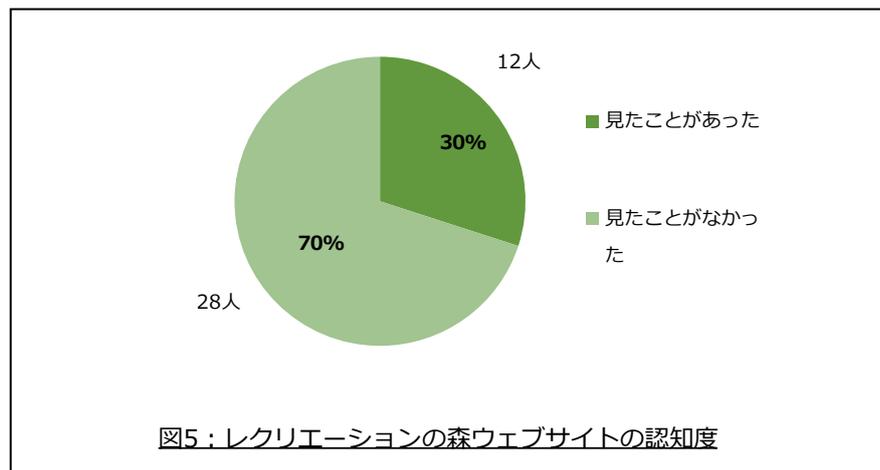
このように、レク森と世界自然遺産には目的に相違点があるため、基本的に区域は重複しないが、レク森と自然公園は目的に共通点があるため、重複している区域もある。重複している区域については、上記の関係機関と調整や連携を図りつつ、適切に管理している。

また、「観光地としてより、なるべく自然のすがたをそのまま残すような整備をしてほしい。」とのご意見もいただいたが、レクリエーションの森の管理・経営にあたっては、利用者の体験活動を念頭に、想定される利用形態、利用動向、自然環境の保全と調和、周囲の景観との調和に配慮することとしており、レク森の種類区分毎に応じた適切な整備に努めている。

## Ⅱ レクリエーションの森ウェブサイトリニューアルについて

現在、九州森林管理局では、このレクリエーションの森をみなさまにもっとよく知って、訪れていただけるように、レクリエーションの森を紹介するウェブサイトを更新しているところである。

まず、現在のレクリエーションの森のウェブサイトについて見たことがあったか尋ねたところ、70%である28人が「②見たことがなかった」と回答し、「①見たことがあった」と回答したのは30%の12人のみであった（図5）。



次に、現在のウェブページを見て、いさぐ印象について尋ねた。まずページのレイアウト・デザインについて「①見やすい」、「②見づらい」、「③特になし」の3つのうちから1つ選んで頂いたところ、最も回答したのは①で23人（57.5%）、次いで③が9人（22.5%）、②が6人（15%）であった（図6）。また、掲載されている情報について「①情報の量は適切で、内容も分かりやすい」、「②情報の量は適切だが、内容は分かりにくい」、「③情報の量は多すぎるが、内容は分かりやすい」、「④情報の量は少なすぎるが、内容は分かりやすい」、「⑤情報の量が多すぎる上、内容も分かりにくい」、「⑥情報の量が少なすぎる上、内容も分かりにくい」、「⑦特になし」の7つのうちから1つ選んで頂いたところ、最も多かったのが①で15人（37.5%）、次いで②の8人（20%）、④の5人（12.5%）、⑥の5人（12.5%）、③の2人（5%）、⑦の2人（5%）、⑤の1人（2.5%）という結果となった（図7）。まとめると、情報量については、適切であると答えた方が、23人、少なすぎると答えた方が10人、多すぎると答えた方が3人であった。情報の内容については、分かりやすいと答えた方が21人、分かりにくいと答えた方が15人であった。

以上のことから、レイアウト・デザインについては見やすく感じるという方が多数だが、掲載している情報については、量は適切だが内容が分かりにくいと感じている方が比較的多いということが分かった。

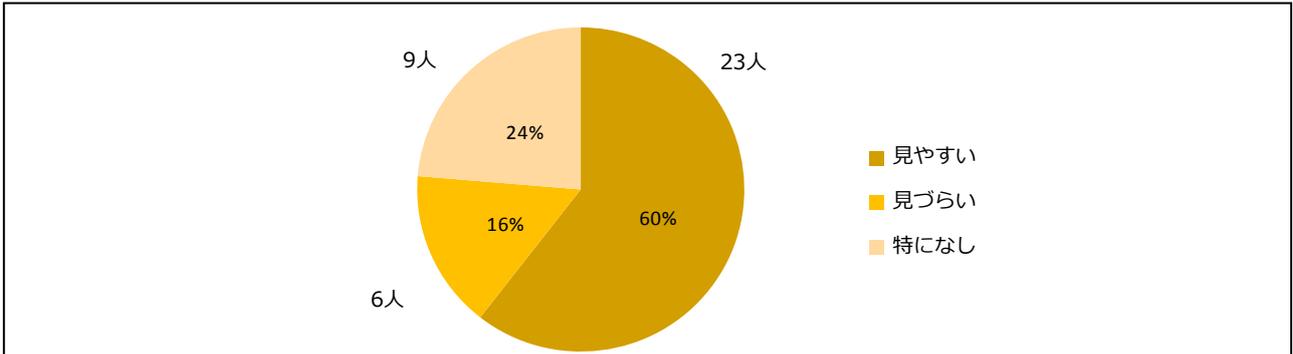


図6：現在のウェブページのデザイン・レイアウトについての印象

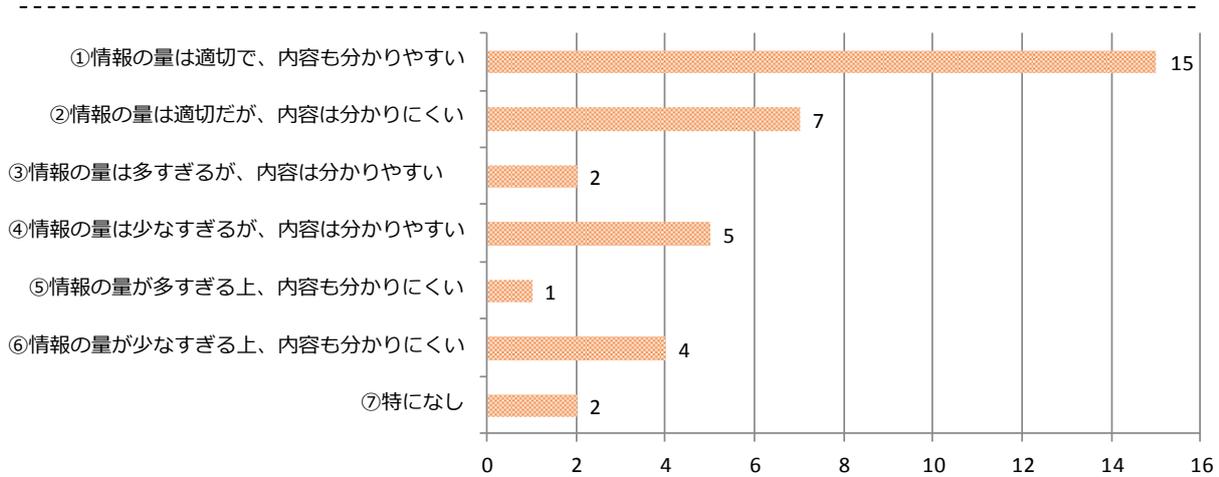


図7：現在のウェブページに掲載されている情報についての印象

(人)

一方、このウェブページの改善した方がよいところについて、「①レイアウトやデザイン」、「②掲載されている情報の量」、「③掲載されている情報の内容」、「④特になし」の4つのうち1つ選んでいただいたところ、最も多かったのは④で10人（28%）、次いで①、③が同数でそれぞれ9人（25%）、最も少なかったのが③で8人（22%）という結果となった（図8）。回答がほぼ同数とばらけていることから、ウェブページについてはレイアウトやデザイン、掲載する情報について、全体的に改善することが求められていることが分かった。

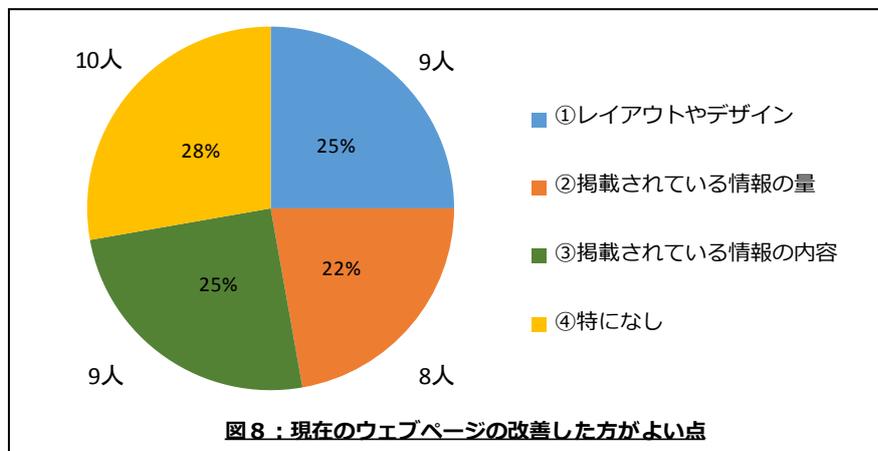
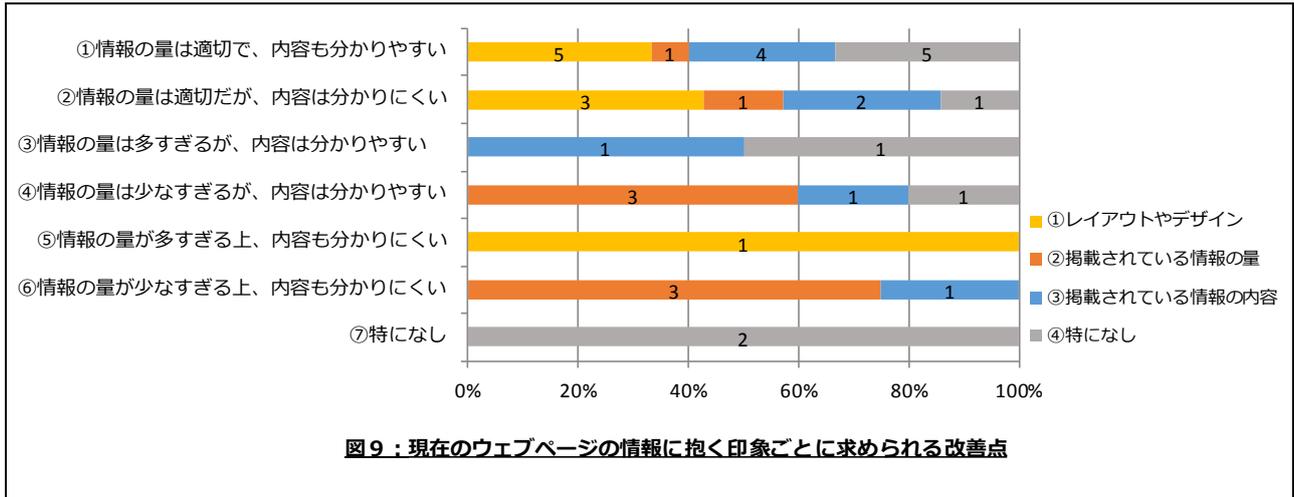


図8：現在のウェブページの改善した方がよい点

現在のウェブページに掲載されている情報に抱く印象ごとに、どのような改善点を求めているのか見

てみたところ、図9のようになった。



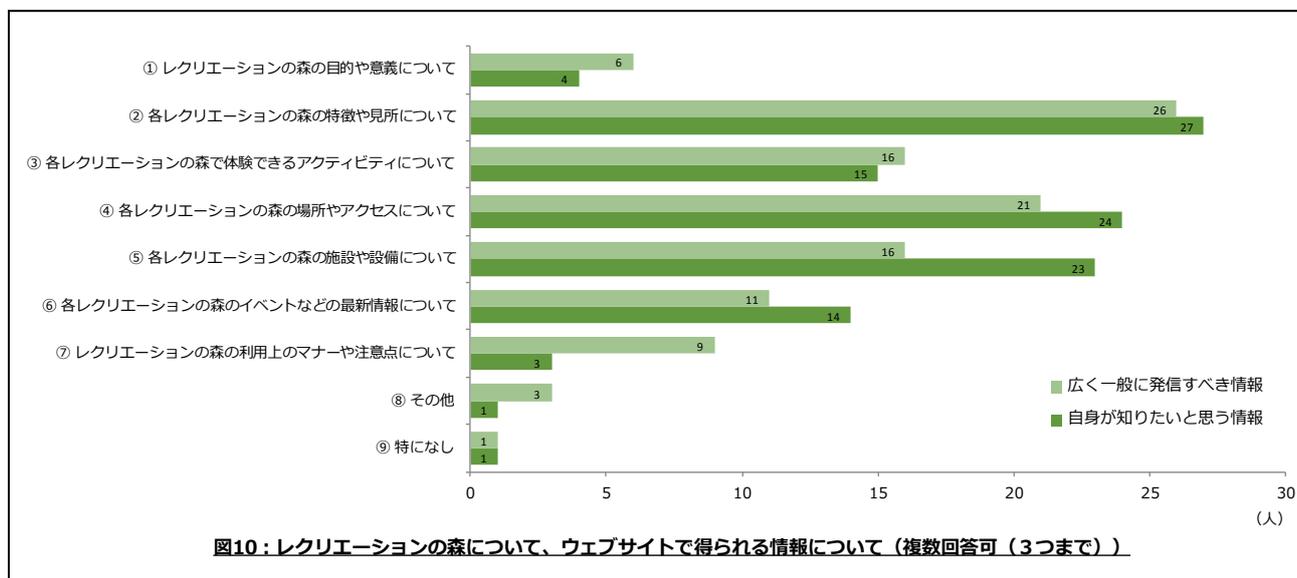
これを見ると、情報量が適切と思われる方は、レイアウトやデザインを改善した方がよいと思われる方が比較的多く、情報量が少なすぎると感じる方は、情報の量を改善した方がよいと思われる方が多いということが分かった。また、情報量が多すぎると感じる方は、レイアウトやデザイン、情報の内容を改善することを求めることが分かった。

また、具体的な改善点について自由記述にて尋ねたところ、主な意見としては以下のようなものがあった。

- 掲載内容について
- 情報が少なすぎる。
  - 駐車場の情報がほしい。
  - どのような活動に適しているのかわからない。
  - アクセス（地図）がわかりにくい。どの地点で何ができるのか分かるようにしてほしい。
  - 実際にレク森で体験できるアクティビティの具体例が分かるといい。
  - どのような服装や靴が適しているのか等、必要な装備についての情報がほしい。
  - 高齢者や子どもでも登れる山なのか分かるといい。
- レイアウト・デザインについて
- レク森の一覧表示に加えて、九州全体の地図があるといい。
  - 字をもう少し大きくしてほしい。
  - イラストや図、写真を多く掲載してほしい。
  - 単調なので、色やデザインといった構成を工夫した方がよい。
- その他
- スマートフォン用のページレイアウトがあるといい。

特に、「イラストや図、写真を多く掲載してほしい」とのご意見を多数頂いた。

これらに加えて、ウェブサイトを通して得られる情報について、自身が知りたいと思う項目及び広く一般に発信すべきと思う項目を最大3つまで選んでいただいたところ、両者とも、最も多かったのは「②各レクリエーションの森の特長や見所について」で、次いで「④各レクリエーションの森の場所やアクセスについて」、「⑤各レクリエーションの森の施設や設備について」、「③各レクリエーションの森で体験できるアクティビティについて」という結果になった（広く一般に発信すべき情報では③と⑤が同数）。



最後に、レクリエーションの森を紹介するにあたり、どのようなウェブサイトが適切と思われるか尋ねた。レイアウト・デザインについては、「①シンプルで分かりやすい」、「②絵や図が多く、見ていて楽しい」、「③きれいな風景等の写真が多く掲載されている」、「④その他」、「⑤分からない」の5つのうちから1つ選んでいただいた。最も多かったのは、②で20人（50%）、次いで③で9人（22.5%）、①で6人（15%）となった。多くの方が、絵や図、写真が多く掲載されているウェブページが適切と思われることがわかった。次に、掲載されている情報については、「①なるべく詳細な情報が知りたい」、「②必要最小限の簡単な情報のみでいい」、「③分からない」の3つのうちから1つ選んでいただいた。最も多かったのは①で17人（42.5%）あったが、②を選んだ方も14人（35%）と①と②の間の差は小さく、ウェブサイト上に掲載される情報の詳しさについては個人で好みが変わりやすいということがわかった。

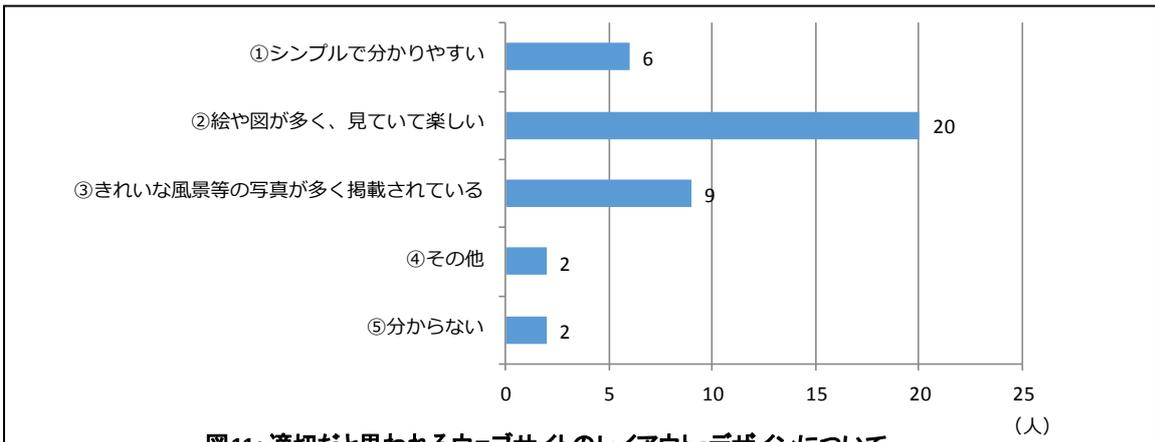


図11: 適切だと思われるウェブサイトのレイアウト・デザインについて

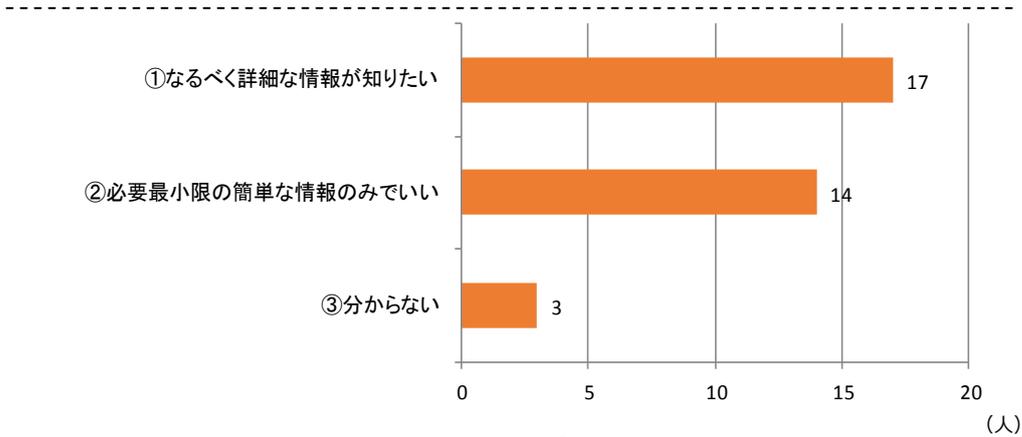


図12: 適切だと思われるウェブサイトの情報量について

レクリエーションの森ウェブサイトのリニューアルにあたり、その他のご意見について尋ねたところ（自由記述）、主なご意見としては下記のようなものがあった。

- 掲載内容について
- HPの更新を定期的（月に1回程度）にしたほうがいい。
  - 風景や、実際にレク森を人が利用している様子の動画を掲載してほしい。
  - 掲載されている写真の撮影時期が混在しているため、そろえた方がいい。
  - レク森ごとに対象年齢が記載されていれば利用しやすくなるのでは。
  - 宿泊施設の情報や、ガイド情報も掲載してほしい。
  - 工事や自然災害による入山規制や通行止め等の最新情報を掲載してほしい。
  - 実際に訪れた人の感想等があるといい。
- レイアウト・デザインについて
- 色をもっとカラフルにしたほうがいい。
- その他
- レク森の認知度が上がるようもっとPRしてほしい。
  - FacebookなどのSNSを活用して情報発信してみたらどうか。
  - 関連自治体と連携してPRするとよいのでは。

掲載する情報の内容に関するご意見を特に多く頂いた。

### Ⅲ まとめ

レクリエーションの森のウェブサイトについては、現在のページに対して、アクセス等の情報が分かりにくい、掲載されている情報が少なすぎる、写真が少なく見づらい等の厳しいご意見もいくつか頂きました。ウェブサイトのリニューアルにあたって、多くの頂いたご意見を基に、多くの皆様に行きたいと思っただけのようなウェブページに出来るよう、検討を進めていきたい。頂いたご意見のすべてを反映することは難しいが、特に、写真や図を多く掲載することでご覧になる方が楽しめるようなページにすることに加え、掲載する情報の内容についてもより分かりやすく丁寧なものとなるよう工夫していきたいと考えている。

レクリエーションの森そのものについて、ご存じだった方は約半分であり、また、宣伝不足ではないかとの声も多数いただいたため、ウェブサイトのリニューアルに加え、今後のレクリエーションの森の広報の方法なども検討してまいりたい。また、レクリエーションの森の利用を通して、心身のリフレッシュを期待されていることから、今後も皆様のご期待に添えるよう、レクリエーションの森の適切な整備に努めていきたい。

アンケート結果は以上となります。今後とも、ご協力のほどよろしくお願いします。

#### <連絡先>

住 所： 〒860-0081 熊本県熊本市西区京町本丁2-7  
九州森林管理局 総務企画部 企画調整課

電 話： 096-328-3642

メール： ky\_kikaku@maff.go.jp

担当者： 角田